

# ソマリ語にソマリませんか

@nkmr\_aki (Twitter 自由言語大学クシ語学部ソマリ語学科)  
nkmr.koborezakura@gmail.com

## 0. はじめに

私が初めてソマリ語という言語の存在を視界の隅にとらえたのは、2011年の6月ごろのことだったと思います。オマーン沖で日本の海運会社のタンカーが襲撃された事件で、逮捕された4人の海賊が話すソマリ語の通訳がないために開廷ができないという報道を耳にしたのです。そのときはなんとも思っていないでいましたが、同2011年の11月ごろブックオフで『ソマリア語辞典』（渡邊、2002）という辞書を発見して、裁判が開けないほど日本に学習者がほとんどいないソマリ語に日本語との間の辞書があったのかと興味を惹かれ、勉強を始めたのです。

海賊事件は日本語とソマリ語の間に英語を介して無事裁判が行われ、懲役10年前後の判決が下りました。しかしソマリ語が話されているアフリカの角の情勢は予断を許さない状況が続いており、世界で最も貧しい地域でありつづけています。この地域への国際的な支援のため、また海賊対策のため、さらには言語学・文学・人類学の発展のため、今より多くの日本人がソマリ語を学ぶことが望ましいと思います。正式な統計はありませんが、ソマリ語は1000万人以上の話者がいる大言語ですし、ソマリ語圏にはハルゲイサのような観光地もあります。

この記事ではそのソマリ語がどのような言語なのかを紹介したいと思います。

## 1. 概論

ソマリ語はアフロ・アジア語族クシ語派に属するとされる言語です（中野、1988）。クシ語派には他にオロモ語やシダモ語などがあります。ソマリ語は膠着語であるとされます。アフリカ東部の「アフリカの角」と呼ばれる地域（ソマリアとソマリランドの全域およびジブチ、エチオピア、ケニアの一部）で話されています。Austin (2008)によれば1000万から1500万人ほどの話者がいるそうです。

しばしば言語名を「ソマリア語」と言われますが、正確には「ソマリ語」です。ソマリアは国名であり、この地域はソマリランドの独立問題など多くの政治問題を抱えていますから、政治的に中立な「ソマリ語」の名称で呼ぶのが望ましいと考えられます。

## 2. 音韻と正書法

### 2.1. 正書法のデザイン

ソマリ語の正書法をデザインしたのは言語学者のShire Jaamac Axmedです。この正書法は1972年に採用されました。ラテン文字だけでソマリ語を書き表すことができます。

正書法はほぼ1文字と1音素が対応しています。ただし、母音の前舌系列と後舌系列の違いや、声調の違いは反映されません。ほぼローマ字読みですが、<dh>が/d/に対応しているほか、口蓋垂よりも奥で調音される音（次節）を表す文字の読み方には注意が必要です。特に<c>が/s/に相当するのには注意が必要です。地図などで誤って地名のCeerigaaboを「セーリガーボ」としたり、Burcoを「ブルコ」としたりしているのを見ることがあります。

なお、本稿でも原則この正書法に従っています。ただし、ときどき形態素の境界に正書法にないハイフンを入れる場合があります。

### 2.2. 口蓋垂よりも奥で調音される音の表記

ソマリ語の正書法の中でも工夫が凝らされているのが、口蓋垂よりも奥で調音される音の表記です。ソマリ語には口蓋垂よりも奥で調音される音が多くあり、通常のラテン文字では書き表しきれません。

そのため、二重音字やアポストロフィを使い、次のような書き方がされます。

	口蓋垂音	咽頭音	声門音
無声破裂音	/q/ <q>		/ʔ/ <'>
無声摩擦音	/χ/ <kh>	/h/ <x>	/h/ <h>
有声摩擦音		/ʕ/ <c>	

私は初めてこの表記法を見たとき、不合理ではないかと思いました。/χ/ を <x> で書き /h/ を <kh> で書いた方が、IPA に似ていていいのではないかと思ったのです。<q> や <h> は IPA と同形ですし、<'> は /ʔ/ を小さくしたような形、<c> は /ʕ/ の下半分を削ったような形なので。しかし、実はこの表記は合理的なのです。いまソマリ語訳コーラン (*QURAANKA KARIIMKA Iyo Tarjamada Macnihiisa Ee Afka Soomaaliga*) の電子テキストをネット上で拾い、この6つの音素が何回出てくるかをおおまかに数えてみました。すると次のような結果になりました。

/h/ <x> 14253  
/h/ <h> 12466  
/ʕ/ <c> 5576  
/q/ <q> 4598  
/χ/ <kh> 737  
/ʔ/ <'> 530

この6つの音素の中で /χ/ <kh> と /ʔ/ <'> が桁違いに少ないことが見て取れます。本当ならば、<kh> のような二重音字や <'> のような特殊な文字は使わないのが望ましいところです。しかし、ソマリ語には口蓋垂より奥で調音する音が多いので、どうしても特殊な書き方を導入せざるをえません。そこで /χ/ や /ʔ/ の出現頻度が低いことに着目し、これに <kh> や <'> を当てたのだらうと思います。そして頻出する /h/ は一字で書けるように <x> にしたのでしょう。

### 2.3. メタテシス

単語中の音素の位置が入れ替わるメタテシス（音位転換）の確かな例を、日本語の現在普通に使われている単語から見出すのは簡単ではありません。「ふいんき」（<ふんいき）や「あたらしい」（<あたらし）がよく例として挙げられますが、「ふいんき」は途中中間的な音を経たと考えられますし、「あたらしい」は「立派だ」の意味の「あたらし」の干渉を受けたものと考えられます。

それに対してソマリ語ではメタテシスを比較的容易に見出すことができます。Nakano (1976) を見ると、「肘」の意味の単語として *suxul* と *xusul* の2つの語形が載っています。x と s が入れ替わったものです。

## 3. 文法

### 3.1. 女性たちは男性？

ソマリ語は不思議なことに、複数形になると名詞の性が反対になることが多くあります(中野,1988)。ですから *naag* (女) の複数形 *naago* (女たち) は男性名詞で、*aabbe* (父) の複数形 *aabbayaal* (父たち) は女性名詞になります。

定冠詞はソマリ語では語尾変化で示されます。男性名詞の場合は{-K-a} がつき、女性名詞の場合は{-T-a} がつきます。{-K-}は前の音によって -k-, -g-, -h-, -∅- となり、{-T-}は前の音によって -t-, -d-, -sh-, -∅- になります。*aabbe* (父) は男性名詞なので *aabbe-ha* となり、*naag* (女) は女性名詞なので *naag-ta* となります。そして *naag* (女) の複数形 *naago* (女たち) は男性名詞なので *naago-ha* となり、*aabbe* (父) の複数形の *aabbayaal* (父たち) は女性名詞なので *aabbayaasha* となるのです。

もちろん男性名詞、女性名詞というのは形態論上の話で、アフリカの角では女性が集まると男性になるとか、お父さんが集まると女性になるとかいうわけではありません。

### 3.2. 不思議なくり返し

ソマリ語では af (口) の複数形は afaf です (中野、1988)。af を繰り返しているように見えるかもしれませんが、そうではなく、af に a がついてその後に単数形の最後の子音を繰り返すものです。同様の例に ceel (井戸) とその複数形 ceelal があります。

そういえば、古代日本語では受身の助動詞が子音終わり語幹の動詞につくときは「書かる」(kak-ar-u) となるのに対し、母音終わり語幹の動詞につくときは「見らる」(mi-rar-u) となります。母音終わりの語幹の動詞につくときには r が繰り返されています。同様に使役の助動詞は「書かす」(kak-as-u) に対し「見さす」(mi-sas-u) のように s の子音が繰り返されます。朝鮮語では主題の助詞が子音終わりの名詞につくときは「당신은」(taṅsin-in) となるのに対し、母音終わりの名詞につくときは「저는」(tjɔ-nin) となります。母音終わりの名詞につくときは n が繰り返されています。同様に対格の助詞は「당신을」(taṅsin-ir) に対し「저를」(tjɔ-rir) のように r の子音が繰り返されています。

母音を挟んで同じ子音が繰り返されるというこの不思議な現象は色々な言語にあるようです。

### 3.3. 世界で一番合理的な文法を持つ言語?

金田一春彦 (1988) は次のように書いています。

(略) 世界の言語は語順から見て次の五類型になる。

- |             |              |                 |
|-------------|--------------|-----------------|
| (1) 日本語式    | 主語—目的語—他動詞の順 | ただし、修飾語は名詞の前に。  |
| (1)' ビルマ語式  | 主語—目的語—他動詞の順 | ただし、修飾語は名詞より後に。 |
| (2) 中国語式    | 主語—他動詞—目的語の順 | ただし、修飾語は名詞より前に。 |
| (2)' フランス語式 | 主語—他動詞—目的語の順 | ただし、修飾語は名詞より後に。 |
| (3) ケルト語式   | 他動詞—主語—目的語の順 | ただし、修飾語は名詞より後に。 |

(232~233 頁)

人はジェスチャーゲームをするとき、母語に関係なく、主語—目的語—他動詞の順にジェスチャーをするといいます。また、修飾語は名詞より後にしてジェスチャーをするといいます。そのことを述べてから、次のように言っています。

ところで、何もかもあのジェスチャーの順序にしゃべる言語はないものか。二三三ページの分類で見ると、たった二つ、ビルマ語とチベット語が、ジェスチャーとほとんど同じ順序にしゃべるようだ。すなわち、この言語では主語・目的語は他動詞より前に、名詞の修飾語は名詞よりあとに来る。これは最も合理的な語順だということになる。

(p.248)

この論に従えば、ソマリ語も世界で最も合理的な語順の言語であるということになります。ソマリ語で「牛乳」は caana lo'-aad (乳 牛-ABL) と言います。また、「その男がその本を読んだ。」は Nin-k-u buug-g-i w-uu akhri-yay. (男-M.DEF- NOM 本-M.DEF-ABS FOC-3.S.M 読む-PST) と言います。

### 3.4. 日本語の「は」に似ている waa

ソマリ語を学んでいて一番に「あれっ、日本語に似ている」と感じたのは、日本語の「は」と同じような位置に現れる waa です。「私の名前は中村です」は、Magac-ayg-u waa Nakamura. (名前-1.S-NOM FOC 中村) となります。しかしこの waa はどうやら Magacaygu ではなく Nakamura にかかるようです。日本語の場合は「は」は「私の名前」について、それが既知の事項（「中村」は未知の事項）であることを表しますが、waa は Nakamura についてそれが未知の事項（Magacaygu は既知の事項）であることを表すようです。つまり、「は」と waa は鏡に映した鏡文字のようなもので、意味も語順も逆なために、一見そっくりに見えるわけです。

## 4. 語彙——日本語に似ている単語

ソマリ語と日本語には互いに似ている単語があります。一般的に言って系統上無関係な 2 つの言語

の単語が意味も語形も似ている場合には、その理由は次の4通りがあります。

- a. 日本語がソマリ語から（他の言語を経て）借用
- b. ソマリ語が日本語から（他の言語を経て）借用
- c. 同じ言語から（他の言語を経て）日本語とソマリ語が借用
- d. ただの偶然

ソマリ語と日本語の間には交流があまりなかったため、a.や b.のような語例はほとんど見当たりません。ただ a.の例としては日本語の「キリン」はソマリ語の“geri”が中国語「麒麟」を通して輸入されたものだという説があります。実在のキリンが伝説上の動物の麒麟に見た目もソマリ語での名前も似ていたため、「麒麟」と呼ばれるようになったというのです。この説は Wikipedia の「鄭和」の項目や Twitter の雑学アカウントなどにも定説のように書かれ、加納喜光（1989）も「アフリカの首の長い動物はソマリ語で giri<sup>[マ]</sup> というらしい。つまり麒麟はその当て字なのである」（p.112）と書いています。しかしこれには確実な一次資料が残っているわけではなく、西江雅之（2000）は「ソマリアのソマリ（Somali）語での“geri”という名称に、中国南方方言での発音“k'ilin”が類似していたことから、その名が実際の動物に付けられたとする説が一般的であるが、その信憑性は明らかではない」（p.101）と書いています。

b.の例は特にこれというものは見当たりませんでした。

c.の例としては、中国語起源の「茶」がソマリ語に取り入れられて shaah、日本語に取り入れられて「茶」となったと思われます。ほかにはアラビア語の سفر (safar) から来た safar と「サファリ」などがあるようです。

現在は英語が世界中で幅を利かせていますから、ソマリ語にも日本語にも英語から大量に語彙が流入しています。America をソマリ語で Maraykan と言い、古めの日本語で「メリケン」と言うように、いずれも最初の a を聞き取らないという現象があります。こんなところが似ているかと思いきや station はソマリ語では istaayshan と s の前に i を挿入し、日本語では「ステーション」と s の後に u を挿入するという相違点もあります。

d.の例としては焦点を示す waa と助詞の「は」の例があります。また海の意味の bad と海をいう古語の「わだ」、更には朝鮮語의 바다 (pata) も似ていると言えるかもしれません。

## 5. おわりに

以上、ソマリ語がどのような言語かをいくつかのトピックを通して紹介してまいりました。みなさんも一緒に、ソマリ語にソマリましょう！

## 参考文献

Austin, Peter K. ed. (2008) *One Thousand Languages: Living, Endangered, and Lost*. Ivy Press.

（オースティン、ピーター・K. 編、沢田治美日本語版監修（2009）『ビジュアル版 世界言語百科——現用・危機・消滅言語 1000——』柊風舎）

Awde, Nicholas et al. (1999) *Somali-English English-Somali Dictionary & Phrasebook*. Hippocrene Books.

Nakano, Aki'o (1976) *Basic Vocabulary in Standard Somali (1)*. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

Orwin, Martin (1995) *Colloquial Somali*. Routledge.

加納喜光（1989）『漢字の常識・非常識』（講談社現代新書 954）講談社

金田一春彦（1988）『日本語 新版(下)』岩波書店

中野暁雄（1988）「クシ語派」『言語学大辞典 第1巻 世界言語編（上）』三省堂（pp.1444-1451）

中野暁雄（1989）「ソマリ語」『言語学大辞典 第2巻 世界言語編（中）』三省堂（pp.507-515）

西江雅之（2000）「“中国・東アフリカ関係” 覚え書き」『月刊しにか』（11-11, 通巻 129）大修館書店（pp.96-103）

渡邊文雄編（2002）『ソマリア語辞典〈日ソ英—英ソ日〉』財団法人東京農業大学出版会